

31 (農)布目沢営農 (富山県射水市)

実証課題名 大規模水田作の大区画ほ場での超省力作業体系の技術実証

構成員 【射水市スマート農業実証コンソーシアム】
 (農)布目沢営農、(株)北陸近畿クボタ、クボタアグリサービス(株)、富山県高岡農林振興センター、
 富山県農林水産総合技術センター、射水市、いみず野農業協同組合、大門町土地改良区

背景・課題

- 富山県射水市では、農業者の高齢化が進展する一方、世代交代は進まず、新たな労働力の確保と高齢化に対応した省力化、軽労化が課題となっている。
- 当地域では、近年、ほ場の大区画化が進み請負農地が増える中、農地の地力差が大きく、地力に応じた施肥設計などにより水稻や大豆の収量・品質の向上と省力機械化体系への転換が必要となっている。



(農)布目沢営農関連施設全景

本実証プロジェクトにける想い

私たちの営農は稲作を中心とした大区画ほ場でGPSガイダンスやKSASを活用し、コスト削減と作業の効率化を目指してきました。

今回のプロジェクトで更なる省力化と軽労化を実証することで、次世代の若者にスマート農機を活用した魅力ある農業を継承し、持続可能な農業経営を目指していきたいと考えています。

そのためにも目標の達成に向け、データを収集し、誰でもどこでも安心して使える技術の実証と普及に努めます。

- 目標**
- トラクタ作業に係る労働時間 20%削減
 - 移植水稻収量 3%増加
 - 移植水稻肥料費 5%削減
 - 経常利益 2%増加

実証する技術体系の概要

要素技術 ①自動運転トラクタ、②直進キープ田植機、③自動水管理システム、④収量コンバイン など

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント	①	②	①	③		④		①				



問い合わせ先

▶実証代表 (農)布目沢営農 e-mail:eino.nuno@po11.canet.ne.jp
 ▶視察等の受入について 上記と同じ